

## FMe-niwa 平成30年度 第3回放送番組審議会議事録

開催年月日：平成30年 9月21日（金）12:00

開催場所：えにあす会議室7

審議内容：特別番組「夏休み子ども放送局」について・放送局全般に関する意見交換（臨時災害放送）

出席委員数：6名中、出席6名

### 【代表取締役挨拶】

・別公務の為、代表取締役欠席により、割愛。

### 【審議委員長挨拶】

先般の胆振東部地震では、全道的なブラックアウトとなった中、恵庭のラジオ局もきめ細やかな生活情報を発信していただきました。本日の議題にも入っていますので、審議委員の皆様からも忌憚のないご意見を賜ればと思います。宜しくお願いします。

### 【事務局より】

ここ数年夏休み時期に形を少しずつ変えながら実施してきました特別番組「夏休み子ども放送局」は、本年から対象を市内全8校の小学4~6年生にしぼって、夏休み前に対象となる全児童分のチラシを配布し、4日間の期間で16名が参加してくれました。また、これまでの番組出演だけでなく、午前中からのオリエンテーションを行うことで、

コミュニティFMの意義や活動内容にも触れていただき、子供たちのメディアリテラシーを育むきっかけにしたいと考え、本年は実施しています。

※ダイジェスト版の音源試聴

### 【ご感想】

- ・子どもたちが自分で企画を考えてやるという方法がとてもよかったと思います。
- ・話し方がとてもしっかりしていると思った。内容については子どもらしくて良かった。
- ・どの子も可愛らしいし、良い企画だと思います。同じ年代の子たちが聞いても楽しめたと思います。

### 【ご意見】

- ・子どもたちにもっと取材させても面白いと思います。
- ・夏休み限定となっていますが、冬休みもやってはいかがでしょうか？
- ・はじめての体験という事では小学生対象でいいと思いますが、さらに発展させていくのであればターゲットを中学生などに広げてはどうですか？

### 【回 答】

当日来ていた親御さんからも、もっと子どもたちに取材をさせたり、恵庭の事を調べさせてはどうでしょうといったご意見をいただきました。冬休みもできるかどうか現時点ではわかりませんが、そこも含め今後調整していきたいと思います。今回出演した小学6年生の子からは中学生になってもやりたいと言ってもらったので、中学生バージョンも検討していきたいです。現在高校生の市民パーソナリティが番組を持っているので、こども放送局に出た子どもたちがいつか番組を持つように発展していければと思います。ご意見ありがとうございました。

※続いて事務局から台風、地震時の臨時災害放送についての報告があり、今回の災害についての意見交換を行う。

## 【ご感想】

・市職員としての災害時の対応についてになりますが、情報の扱い方が難しかった。営業しているスーパーなどの情報をどこまで出しているのか、出した事によって買占めなどあらたな混乱を招くのではといった判断が役所は難しい。いーにわさんもそうだったと思いますが、そのバランスをうまく取ってくれたと思います。

・今回はラジオから流れる情報に助けられた。断水の誤情報や営業しているガソリンスタンド情報など本当にありがたく、車のラジオをいーにわさんに替えますという声もあった。よくやってくれたという感想です。

・電気も早くに復旧し通常通りの生活が出来ている人もいて、同じ市内でも差を感じました。避難所に来た人は若い世代が多かった。高齢者は家にいるしかなかったのかと思った。

・今回のことで初めて真剣にラジオを聞いた。災害時のラジオの必要性がわかった。

市と連携をとっての大活躍だったと思います。

・商店会の被害については地震前の台風の被害が大きかったです。倒木、風でシャッターが捲れるなどの被害をどうするかといった矢先の地震でした。電気が来ていないので会社を閉めていた所も多かった。

・台風で家のアンテナが飛んでしまった。庭の樹木も倒れました。ご近所の街路樹も倒れすごい台風だったと思っていたら夜中に地震が起きた。どこの車かはわからないが断水になりますと町内を回っていてあわてて水を溜めた。その後、断水計画はないことを知ったが、色々な誤情報が飛び交うことに驚いた。

## 【ご意見】

・防災無線は聞きにくいので、防災無線で流れる情報がラジオでも流れるといいと思う。

また今回の災害時の放送はとても役立ったが、聞き逃した部分などもう一度確認できるように文字情報としても確認できるシステムがあったらいいのではと思った。

・今回間違った情報などが多く出回ったりした。高齢になると確認しに行きたくても行けない場合が出てくるので、しっかりとした正しい情報をつねに取れる体制が恵庭市にあったらいいと思います。

## 【回 答】

時間経過とともに求められる情報は変化します。今回の事で困りごとから情報が生まれるというのを感じました。より困りごとが集まるような仕組みづくり、信頼性を高めていける放送局づくりをしていきたいと思っています。

その他番組全般に関する質問、意見がなかったため、閉会。

総委員数 6名(敬称略)

○出席 6名： 市川、遠藤、関田、吉野 佐藤 川原

○欠席 0名：

○放送事業者側出席 1名

職員 三浦 真吾

審議会の答申又は、意見の概要を場合の公表内容

公表方法 自局内放送および局内掲示板にて

公表内容 上記の内容

公表年月日 平成30年 10月20日